



おひさま通信

10月号

10月の予定

1	金	
2	土	
3	日	
4	月	身体測定：幼児
5	火	身体測定：乳児
6	水	
7	木	運動会
8	金	
9	土	
10	日	
11	月	尿検査容器回収 (2~5歳児・容器渡し4日)
12	火	
13	水	(運動会 予備日)
14	木	絵本貸し出し
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	お茶を楽しもう (4・5歳児)
19	火	
20	水	
21	木	
22	金	
23	土	秋分の日
24	日	
25	月	
26	火	5歳児 バス遠足
27	水	
28	木	2歳児 保育参観 絵本貸し出し
29	金	
30	土	
31	日	

訂正です。
秋分の日ではありません。

暑いと思っていたら、ヤンマー公園では、紅白の曼珠沙華が咲いていたのが、もう散っています。園庭の柿の木はオレンジ色に色づき始め、季節の移り変わりを視覚で楽しめるようになっていきます。

食欲の秋にしっかり食べて免疫力をアップしましょう。また園庭での活動も十分楽しみ、体づくりに努めます。

寒暖の差に気を付けながら過ごしていきましょう。

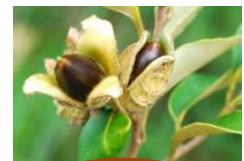
どんぐりの季節ですね



くぬぎ



マテバシイ



スタシイ

どんぐりは、常緑樹です。山や里山では生き物の食べ物になります。園では、子どもたちの遊びに大活躍です。

『狩猟時代から子どもは木の実を集める役目を担ってきました。この行為は遺伝子に組み込まれた大事な行為なのでそれを否定することは子どもの意欲をなくします。どんぐり拾いは、子どもたちの意欲を育てる行為だと思っていただけたらありがたいです。(小泉昭男先生：園の庭を造園していただいた京都女子大非常勤講師のエッセイより)』

ニュースで、どんぐりを鼻に詰めて取れなくなったという報道も、楽しい遊びの裏には必ず危険も伴っていると思いますが子どもの意欲を潰さないでほしいと思います。

10月の絵本毎月楽しんでいきます。

親子で絵本を楽しむ ことの大切さについて



【…(略)…持ち帰った絵本は、早速点訳絵本にしてもらい、私がお話を読み、それを聞きながら子どもたちは絵を見て、会話が弾んだものです。そんな時期を経て、成長した子どもたちを改めて見たとき、絵本を楽しむ中で、親の肌のぬくもりと愛情を、知らず知らずのうちに受取り、それが生きる底力からのように思えました。相手に自分の気持ちを言葉で伝える力も、お話を楽しむなかで身につけてくれたのではないのでしょうか。また、幼いころから絵本を通して、親子の会話が習慣になっていたおかげで、反抗や思春期も、それほど悩むことなくすごせたような気がします。(岩田美津子さんのエッセイから：点訳の普及の促進に取り組んでいる方)】

☆今月の徴収金は、21日です。事務所に取りに来てください。
◎ご家族・児童がPCR検査を受けると決まった時点で、必ずお知らせください。
◎降園時、安全の確保が難しいので、園庭で遊ばず降園をしてください。
◎就学前教育カリキュラムのパンフを配布します。ご覧ください。

ひよこ組



雨続きでできなかった水遊びに代わり、残暑を楽しむため、氷や吸水ポリマーを使って感触遊びをしました。保育者の持っているものに興味津々で、側に近づいてじーっと見る子どもたち。袋に入ったものをもらおうと、氷が溶けてしまうまでずっと持っていたり、水を吸ったポリマーを一粒ずつ触ってぷにぷにしたり、楽しんでいました。また、サンルームでもプレイマットやトンネル、押し箱などを使って粗大運動をしています。

10月も引き続きサンルームやテラスで体を動かして、元気に過ごしていきます。



うさぎ組

まだまだ暑い日は続きますが日に日に涼しさも感じられるようになり、園庭でたくさん体を動かして遊んでいます！！「まてまて～！」とお友だちや先生と追いかけっこをしたり、砂場で「お山つくろ～」とみんなで一緒に協力して砂を積んだり。楽しそう！と思うことを真似しながらも一人ひとりがその遊びに集中して楽しんでますよ♪

言葉のやり取りも増え、「〇〇しようよ～！」や「かして～！」などお友だちとの会話を楽しんでいる様子も見られます。わらべ歌も自分たちで歌い始める姿も見られてきました！

毎日おもしろい姿を見せてくれるうさぎ組さん。

季節の変わり目、気温差で体調を崩さないよう気を付けながらお外でもお部屋でも楽しんでいきたいと思っております！！



ぺんぎん組

朝方はぶるっと寒さを感じるようになりましたね。気温差も出て体調が崩れやすくなりますのでお気を付けください。

9月に入るとヤンマー公園へ行き、体操をしたり、かけっこをしたりして楽しみました。「いちについてよーいどん！」の合図で上手に走る子どもたち。「もう1回やりたい」と意欲いっぱいです。

園庭でも走ることや、ジャングルジムやウッドウォールを登ったり、柿の木の所からジャンプしたりと活発に身体を動かして楽しむ姿が増えました。

また、自然との関わりでは、色が変わっていく柿や、姫リンゴに気が付いたり、ドングリが顔を出し、「みせてみせて」とやってきたり、コオロギの音を聞いたり、ピョンとふいに飛び出すバッタに一喜一憂する子どもたちです。

